

ODA おしやりん

第 151 号

2021 発行
5月

会員投稿

三代達也さん

2-3p

会員のデジタル活用を支援します

3p

ITサポートおきなわの管理者を離任します

4-5p

お知らせ

ワクチン接種、脊損は基礎疾患に含まれます

6p

活動アラカルト 初開催！オンライン新年交流会

お知らせ

青い鳥はがき5月31日まで

7p

バリアフリースポット／お梅やま／編集後記

8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716
 〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号
 E-mail office@okisekikyo.com
 ホームページ <http://okisekikyo.com/>
 facebook <https://fb.com/okisekikyo> Skype ID:okisekikyo

表紙写真：三代達也さん

会員投稿 ^{みよたつや}三代達也さん

車椅子トラベラーみよっち こと三代達也です！



皆様初めまして、3月に糸満市に引っ越してきました三代(みよ)達也と申します。

私は茨城県日立市出身で、18歳の時にバイク事故で頸髄損傷(C6B2不完全麻痺)になり2年間の入院後、10年以上東京～神奈川で一人暮らしをしていました。

サラリーマン生活を送りながら23歳の夏休みに初めて海外旅行でハワイに一人で訪問し、日本では味わえないような設備&心のバリアフリーを体感して海外に魅力を持ちました。

その後も働きながら長期休みのたびに海外に出かけていましたが、段々と会社員生活が体感的に苦しくなって人生に迷う瞬間がありました。

これからの自分の人生をどう生きるか。

自分の中で何度も会議しましたが、未来に希望を持てませんでした。

そして逆に考えたのです、未来のことは考えなくて良いから今までの人生で最も楽しかった、輝いてた事をやろう！

28年の人生で最も自分らしく生きていた時は、「旅」をしている時でした。

ただ最初は怖かったです。

飛行機って乗れるのかな？

海外のバリアフリーってどうなってるのかな？



それらの恐怖は、一度行ってしまえばただの取り越し苦労だと気付きました。

じゃあ当時の僕のように、一步踏み出したいけど怖いからやめようかな…とってる人に僕が世界中を旅している姿を見せることによって

誰かの一步につながるのではないか、そう考えて270日間世界一周一人旅を決断しました。

身の回りのものや車も売り払って、貯金も使つて。

とんでもなくハードな旅でしたが、無事帰国した後の生活は一変しました。

世界一周旅のエピソードを話す講演のお仕事や、本の出版、全国の自治体と提携をしてユニバーサルツーリズムの監修、HISとの業務提携など、気がついたら大好きな旅が自分の仕事となったのです。

2018年に帰国し2020年2月までは全国を飛び回り右肩上がり仕事に奔走し、よしいける！と思った瞬間に現れたコロナショック。旅行業は壊滅状態。

車椅子トラベラーとして活動していた僕も同様に、99%の仕事が無くなりました。

もうダメか…？

と思いましたが、まだやれることはある！

そう信じて、自分が今まで旅人の仕事の中で至ってなかったこと、やり切れてなかったことはないか？を振り返りました。

その一つに、講演に来れなかった人達を思い出しました。

「私、耳が聞こえないので三代さんの講演には行けません」

「私は家族が重度の障害により介護があるので外に出られません」

など、様々な理由で講演に来られない人のために今だからこそ想いを伝えたい。

そうして講演のエピソードトーク動画を小分けにしてYouTubeに投稿。

それなりに反響もあり、中には150万回再生を超える動画もあります。

お陰で収益が生まれて、なんとか食い繋ぐことができました。

コロナが一旦落ち着くとリアルの旅仕事もほんの少しずつ戻ってきましたが、まだまだ外出(旅行)はしにくい雰囲気。

関東で生活していて、それなりに仕事はありましたが私は車椅子トラベラーとしてちゃんと生きているのか…？



また自問自答しました。
 海外には当分行けないだろうな。
 じゃあコロナが落ち着いたら、みんな国内旅行からスタートするだろう。
 そんな時に一番行きたくなるのは日本一のリゾート地、沖縄。
 僕もプライベートや仕事で何度も沖縄には訪問していて大好きでしたので、パッと移住を思いつきました。
 仕事のあても、知り合いも殆どおりません。
 ただせっかくYouTubeを始めたので、文字や写真ベースだけではなく動画で沖縄の魅力やバリ

アフリー情報を発信し、コロナが明けた後車椅子ユーザーが沖縄を心から楽しんでもらえるように発信活動を始めよう！



そう決意し、移住して参りました。
 先の見えない不安定な生活になりそうですが、それは人生も旅も同じだと思います。
 もし今後直接お会いできる機会がありましたら、沖縄の歴史や魅力を教えて欲しいです！
 これからどうぞよろしくお願ひします。

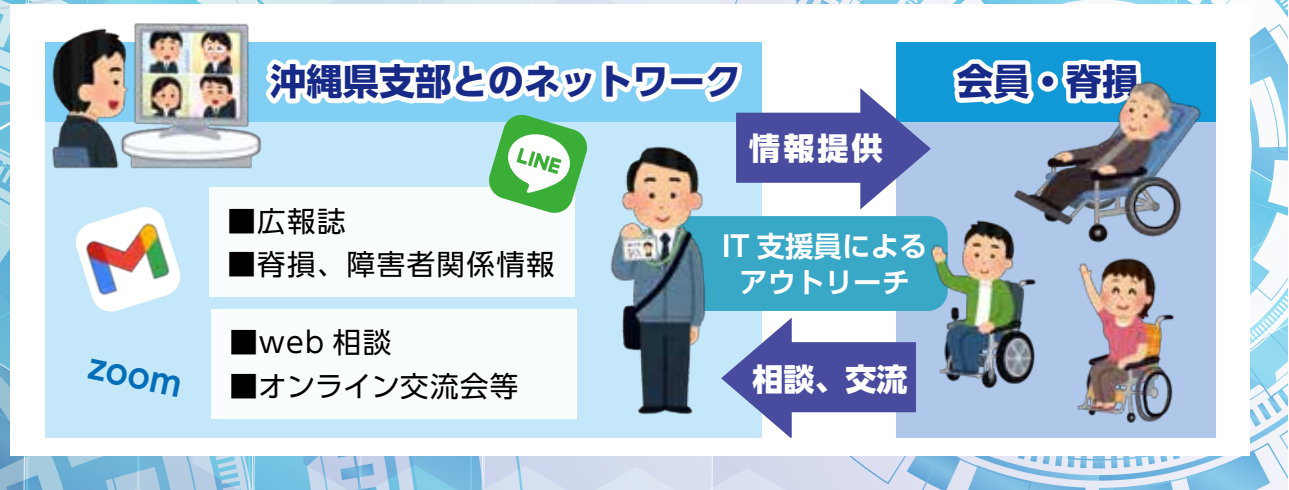
▶公式 HP
<http://wheelchair-worldtrip.com>
 ▶YouTube チャンネル
 「Miyo channel」
 ▶Twitter
 @saitoumokichi
 ▶Instagram
 wheelchair_traveler_miyo

■活動内容、実績、SNS 等
 ▶2019年7月に光文社より
 「No Rain, No Rainbow 一度死んだ僕の、車いす世界一周」を出版。
 ▶エイチ・アイ・エスユニバーサルツーリズムデスクスペシャルサポーター
 ▶トミーヒルフィガーアダプティブオフィシャルサポーター

会員のデジタル活用を支援します ～デジタル活用推進事業～

コロナ禍で会員同士の交流機会がなくなり、相互の生活情報や困りごとなどを分かち合えない状況です。また、社会は感染防止のこともあり非接触的な方法を推進してきている中、「デジタル化」が想像以上に進んできていてこの状況に戸惑い、デジタル活用が難しい会員から「LINEはどうやって使うの?」「役所申請やスマホの手続き等をインターネットでというが、できない(>_<)」といった相談が多くあります。そこで、デジタル活用を希望する会員に対して、利用できるようにアドバイスする活動を行います。場合によっては離島や遠隔地の相談もあると思いますが、可能な限り対応します。

重視していることは、「会員同士、事務局とのネットワーク」です。メール、LINE、他オンライン(リモート)を活用したデジタルネットワーク構築を目指して取り組みますのでご協力、問合せなど事務局にご連絡ください。



ITサポートおきなわの管理者を離任します

仲根建作



友利克也さんから離任の花束

"受け手から担い手に"を掲げ

車椅子ユーザー団体の沖縄県脊髄損傷者協会は約2年間の準備期間を経て、2017年10月に障害福祉サービス・就労支援事業所「障がい者ITサポートおきなわ」をIT特化型で開所し5年が過ぎました。

どうして"IT特化型"だったのか。

私事を思い起こせば、約40年前に頸髄損傷となり、長いリハビリを経て5年後に「那覇市社会福祉協議会」という福祉機関に勤めることになりました。

障がい当事者ではあるが福祉の専門ではない。仕事の中で"私だからできる"という特化した役割・機能を模索していました。

"パソコンを駆使する"を見出しました。

当時はワープロ専用機が主流で、パソコンはNECのPC-8000シリーズ。[BASIC]というプログラム言語があり、それを使って今でいうExcel的な表計算を構築していました。

当時の直属の上司が唯一できる方だったので、

習得できたことが今に活かされていると思います。

■1つ目のターニングポイント

その後、社会福祉士資格も取得し、障がい当事者の福祉専門職としてステップアップすることができました。それでも業務でパソコン等のITを使いこなすことは"必要不可欠"で、IT活用の意識は高まっていきました。

一方、沖縄協の重要な活動であるピアサポート活動で、自宅や施設に引きこもり状態の仲間たちに接する度に、自宅にいながらの"社会とのつながり"としてのIT利用は欠かせないという思いも強くなりました。

脊髄損傷者は車いすユーザーで多くが移動困難者。脊髄損傷者のうち、約60%が首の骨折等の頸髄損傷で四肢障がい。中には首下完全マヒで腕も動かない方も呼吸障がいのある方もいます。

常時介護が必要な方が多くいて、生活や働くこと、日常生活でのコミュニケーション、情報発信にIT(パソコンやインターネット)は欠かせません。生活の公的制度が必要だと感じます。

そんな思いから「障がい者へのIT支援の公的制度化を目指そう!」となりました。

当時、国の補助事業で「障害者ITサポートセンター事業」が27都道府県で実施されていましたが、沖縄県は未実施状態。手始めに沖縄県実施を目標に、ソーシャルアクション(事業開始に向けた社会活動)を8年前に開始しました。事業を進める中で、行政の方々から

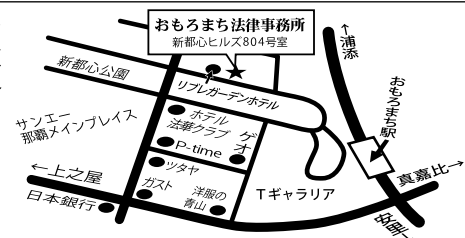
交通事故の法律相談

人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25 新都心ヒルズ804号室
弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】 ☎(098) 963-6268

※ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。
移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。
相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

の声は「このITサポートセンター事業を担える民間法人がない。沖脊協は実績が無いからな(担わせるわけにいかない)」との声。

"受け手から担い手"

その声を聞いて、「やってやろうじゃないか!」と一念発起。そのために25年務めた、生活として安定していた社会福祉協議会勤務を思い切って辞めてしまいました。

■2つ目のターニングポイント

そして、"テレワーク"は離島県である沖縄では必要な働き方となることに確信を持ち、開始当初から取り組み。また、就労支援事業ではA型、B型、就労移行ではすべてITサポートおきなわが県内で第1号の事業を開始し、切り開いてきたと自負しています。

事業を始めるにあたって何度、行政と"在宅ワーク・利用"のことで直談判をし、戦ってきたことか。それは今でも続いています。

今後も、IT活用の素晴らしさを多くの障害を持つ方々に伝え、多様な働き方の一つとして知ってほしいと強く願っています。

さて、障がい者ITサポートおきなわは今日まで多くの方々のご支援ご指導によって築かれてきました。併せて、沖縄県全体としての障がい者就労支援の底上げに少しでも寄与できたらとの思いから、就労支援関係者とのネットワーク化や協働活動に取り組んできたと思っています。

"ITで可能性を切り拓く"

このモットーは引き継がれ、新管理者の仲根藤江を先頭に、利用者含めたスタッフ全員でベクトルを合わせ、更に切り開くスタンスで前に進んでくれると思います。

直接利用者との交わりは少なくなりますが、法人理事長として他の理事と手を合わせ、経営責任は全うする所存です。

今後とも障がいITサポートおきなわをよろしく願います。

職員紹介

【所属】障がい者ITサポートおきなわ

【名前】仲根 藤江



【役職】サービス管理者

【メッセージ】

今年度より管理者を任命され、サービス管理責任者兼務となりました。これまで培った支援力を活かしチームワークを大切に

に前進いたします。よろしく願います。



【所属】障がい者ITサポートおきなわ

【名前】川田 潤



【役職】職業アドバイザー

【メッセージ】

こんにちは、川田潤(かわたじゅん)と申します。去年度は沖縄県の受託事業である「沖縄県障がい者ITサポートセンター」

でITサポートコーディネーターとして勤めていましたが、今年度から同じ建物内にある就労支援事業所「障がい者ITサポートおきなわ」の職業アドバイザーに「異動」となりました。

ITサポートコーディネーターで養った支援機器の知識と、今まで培ってきたIllustratorやパソコンの知識・技術をこれからの利用者の支援に活かしていきたいと思っています。

これからよろしく願います。



ワクチン接種、脊損は基礎疾患に含まれます

新型コロナウイルスワクチン接種スケジュール

2月 17日～ 3月 4月 12日 5月 10日 6月 6月末 それ以降

先行医療従事者
4万人

その他の
医療従事者
480万人

自治体では脊髄損傷者が基礎疾患として把握されていないことが予測されますのでお住いの自治体に問合せしてください。

接種券の郵送



65歳以上
高齢者
3,600万人

脊損は基礎疾患に含まれます。

承認済み

ファイザー社製ワクチン
1億4,400万回分供給予定

郵送
基礎疾患のある方、
高齢者施設
従業者 など

郵送
一般の方

対象:16歳以上 料金:無料/全員1人2回接種(3週間隔)が必要です



民間車検場(沖指第590号)/(株)ミックライフ&オート総合代理店

ニッシン自動車工業沖縄

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

TEL:(098)958-6556
FAX:(098)958-6522

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名 219
E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二

からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



代表 林 秀一

TEL: 098-867-0006

FAX: 098-867-0008

〒900-0004

那覇市銘苅2-11-19

グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com http://www.ryukyu-chiryoin.com/

活動アラカルト

初開催！オンライン新年交流会

去る2月27日(土)に毎年恒例の「沖脊協 新年交流会」を開催しました。今年はコロナ禍のため、会員同士のZoomを使った初の試みとなり、人数の確保が課題でしたが、当日は約20名が参加。多くなく、少なくともないちょうどよい規模でした。



オンライン交流会を楽しむ方法と考えた結果、湯煎ですぐ食べられる特製焼き鳥セットを宅配便であらかじめ参加者宅へ送り、焼き鳥を食べながらの形式にしました。後半ではビンゴ大会も開催。景品はいつも以上に豪華にし、1万円もする炊飯器や空気清浄機が

用意されました。人数が少ないので当たる率が高くなっていました。今後もオンラインでのイベント開催をと考えています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。「参加したいけどやり方がわからない」などのお問合せにも積極的に対応していきますので、ぜひチャレンジください。



2021年度沖脊協定期総会

今年もオンライン (Zoom) 総会となります。会員には葉書またはメール等で開催のご案内をしています。参加可否及び委任の返信が未だの方は至急事務局に連絡ください。多くの会員が近況報告や意見交換ができるとありがたいです。

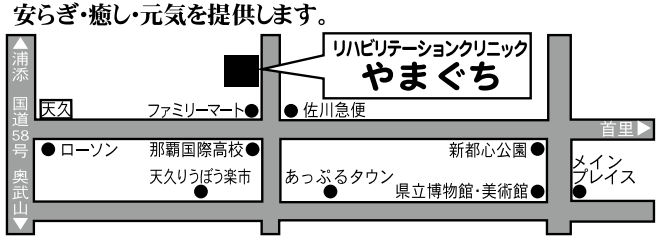
青い鳥はがき5月31日まで

日本郵便株式会社より「青い鳥郵便葉書」の無償配布が今年も始まっています。1・2級の重度身体障がい者が対象。代理でも可能なので家族やヘルパーさんにもお願いできます。印鑑は不要です。5月31日まで。

R.O.Y. リハビリテーションクリニック やまぐち
 Rehabilitation Clinic Yamaguchi 〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
 TEL098-864-1100

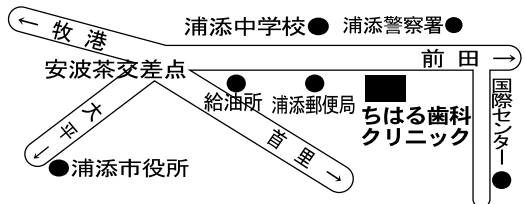
診療スタッフ
 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
 副院長 山口 浩 整形外科専門医
 リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師
 診療科目/リハビリテーション科・整形外科 ▶身体機能訓練
 ▶身体能力訓練
 ▶言語訓練
 ▶摂食嚥下訓練
 ▶認知訓練

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00~ 6:00	○	○	○	○	○	○



ちはる歯科クリニック
 CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9
 ☎(098) 877-6480
 FAX (098) 877-9251
 E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!
 対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
 病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

バリアフリー スポット

マンスリー賃貸物件「あがりテラス」

母の介護経験による三姉妹のバリアフリーへの想いが詰まったやさしい建物



表紙の三代達也さんが移住するにあたって発見した、バリアフリーなマンスリー賃貸物件です。三代さん訪問時にオーナーの三姉妹（長女・大城恵子さん、三女・新城幸枝さん、四女・森山千沙代さん）とご一緒にゆんたく。設計された

方が沖脊協と連携していただいている、バリアフリー建築で有名な団設計工房の永山さんだったことから話が弾み、バリアフリー賃貸を建築された想い・プロセスを聞かせていただきました。

三姉妹の母親の10年におよぶ常時介護の体験の話。特に母親の尊厳を守るために行動してきた三姉妹のお話は感動でした。仲根のこれまでバリアフリー住宅を見聞していた中でも素晴らしい別件なので拡大版で紹介させていただきます。



マンスリー賃貸で1LDKと2LDKの2棟で夫婦世帯など家族利用を想定した間取り。家具・家電付き、電動ベット（2モーターですがデザインがGood）。トイレ・風呂場は手すりは勿論のこと、介護者への配慮など空間利用が素敵でした。

駐車場は雨天時の昇降で濡れないように庇あり。玄関は2cmの上がりかまち（外のごみ侵入を防ぐ）。出入り口はすべて引き戸で間口が広く、寝室が120cm。トイレが90cm！（特にビツ



クリ）。狭いところでは内外両方向に開く折れ戸（2枚扉）で工夫しています。



洗面台は下部に空きがあるカウンター式。トイレは跳ね上げ式1つ含めて左右。浴槽は介助者が動きやすいようにと両側にスペースを設けています。シャワーの高さも調整できるようになっていました。



他にも電灯スイッチが大きく電源位置もナイス。テラスも段差なし等etc…。(仲根)

あがりテラス

月額家賃／1LDKは11万5千円、2LDKは13万5千円(長期契約の場合は家賃の割引あり)。
【写真提供・設計】
一級建築士事務所 団設計工房



編集後記

亡くなった田島哲太さん。2月27日のオンライン交流会で見たのが最後でした（P.7写真3段目右端）。重度ながら一人暮らしを始め、在宅勤務にも慣れ、新しい人生これからという段階の若すぎる死は、関係者には大きな衝撃でした。合掌…。(砂川)

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

川上 晃さん（会員）

田島哲太さん（会員）

いつも会費をお支払いいただき、まことにありがとうございます。
お支払いがまだの方は事務局にて直接、もしくはお振込をお願いします。

正会員
年間 3,600円



楽天銀行 第二営業支店（普通）7104311
トクヒ オキナワケンセキズイソシヨウシャキョウカイ

賛助会員（個人）
一口 3,000円



沖縄銀行 石嶺支店（普通）1520193
特非) 沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作

賛助会員（団体）
一口 5,000円



琉球銀行 石嶺支店（普通）445603
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根建作